

# みんなの認知症のために 地域の架け橋をつくる



高鍋町地域包括支援センター

保健師 認知症地域支援推進員 : 横田 麻美

介護支援専門員 : 平田 いくみ

# 高鍋町

## ～地域を知る～



- 宮崎の中央にある町。自治体で、最も面積は小さい。児湯の中心として行政機関や教育が集中する「コンパクトシティ」
- 海に恵まれ、サーフィンスポットや、天然牡蠣産地、アカウミガメの産卵地。
- 農業も盛んで、キャベツ収穫後、ひまわりを栽培し、環境保全活動として、日本最大規模のひまわり畑に発展。
- 高鍋藩三万石の城下町という歴史あり。秋月種茂公や石井十次先生など多数輩出している。

「孤児の父・日本福祉の先駆者」石井十次は

「高鍋は理想的な人材を育成するのに最も適したところだ」と評する。



高鍋町 桑ヶ岡地区  
ぎやべつ畑のひまわり  
Photo / MORIMORI

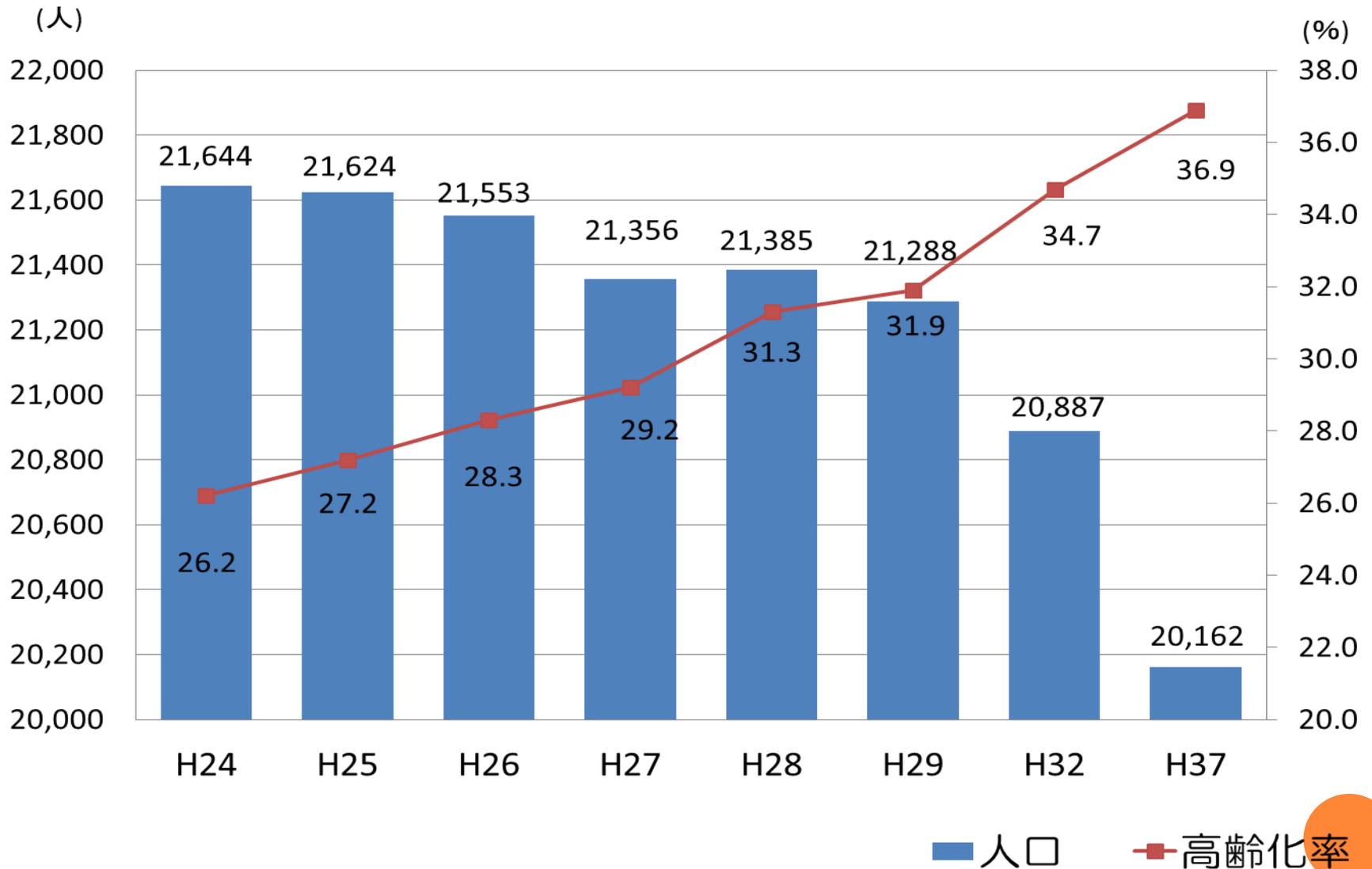


## ◆高鍋町の現状は？

平成29年6月1日現在

人 口	20, 719人
高齢者数	6, 451人
高齢化率	31. 1%

# 高鍋町の総人口と高齢化率の推移



出典：第6期高鍋町介護保険事業計画

# わが町の認知症地域支援推進員

- ・平成27年度配置:1人配置、保健師業務と兼任。  
社会福祉協議会に委託された地域包括支援センター

認知症の啓発や、地域の見守りのネットワークづくり、  
病院との連携など認知症の人ができる限り住み慣れた、  
安心した良い環境で暮らしていけるよう支援を行う



具体的に何をすればいいの・・・？  
1人でどこまでできるだろうか・・・泣



# 高鍋町認知症施策

認知症サポーター養成講座の開催

普及・啓発

地域の見守り  
体制づくり

本人・家族の  
支援

医療・介護の  
連携推進

認知症安心ガイドの作成・配布

地域での徘徊模擬訓練

高齢者等発見ネットワーク事業

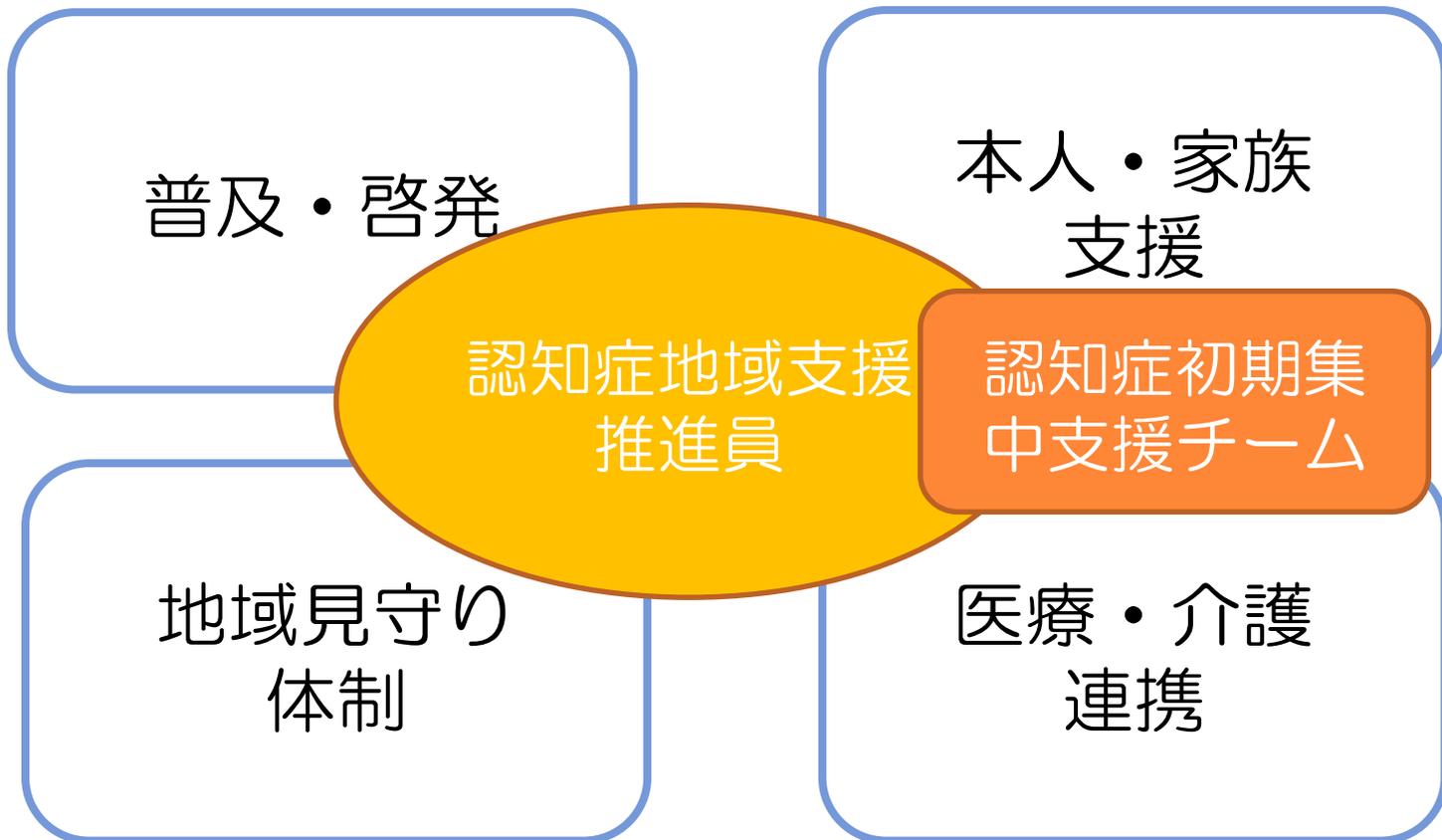
あんしん見守りネットワーク事業

認知症介護者のつどいの開催支援

オレンジ・カフェの開催支援

認知症初期集中支援事業

# 高鍋町の認知症施策と地域支援推進員の役割



# 認知症施策より ～新オレンジプラン～

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護などの提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視

活動をふりかえり、位置づけを整理、課題から目標を！！

# 認知症施策より ～新オレンジプラン～

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
  - ・ 認知症サポーター養成講座の普及  
連携機関に足を運び、消防、警察、高齢者クラブなどで講座開催 その都度内容を変更し実践型に！！  
学校と地域をつなぐ教育の校区コーディネーターに依頼 ⇒ 今年度 小学校、中学校 で開催決定
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護などの提供
  - ・ 隣接する町 介護認定審査会の3町  
ケアパスの検討会の開催 ⇒ 安心ガイド作成
  - ・ 初期集中支援チーム 今年度始動  
推進員と連携中 3町合同で推進員の活動報告し情報交換を行う

# オレンジプラン ④⑤⑦ 認知症介護者のつどい

H23年度に発足。月1回の定例会以外にも、施設の見学、男性介護者や交流のための料理教室、認知症カフェの見学など、認知症家族の方の意向を大事に。



◎介護者のつどいが中心となって、毎年1回**認知症シンポジウム**を開催し、講師を呼び認知症の理解や啓発活動を継続。

# オレンジプラン④⑤

## 認知症の方の見守り、声かけ訓練

気がかりな高齢者がいたら、どうしたらいいのか。

対応の仕方やネットワークなどを学ぶ訓練。

現状→寸劇→実際に声かけ訓練→グループワーク→総評

地域、民生委員、介護者のつどい、警察、社協、行政参加。



- ・話しかけるのに勇気がいる、こういう機会や相談窓口を知ることが大事
- ・認知症の方か判断が難しいが、困っている人を助けるのは特別ではなく、対応も同じと気付くことができた。
- ・日頃よりあいさつをしたり、交流をし、変化に気づける関係性や地域の繋がりが大事

# あんしん見守りネット (高鍋町あんしん見守りネットワーク事業)



見守られて  
いるという安  
心感のなか  
で生活して  
いただきた  
い

# あんしん見守りネット (高鍋町あんしん見守りネットワーク事業)

通常の事業活動の中で普段と異なる状況を発見

健康保険課へ情報提供

子ども  
福祉課  
教育総務課

障がい者(児)  
福祉課

高齢者  
健康保険課

# 高齢者等発見ネットワーク事業

行方不明となった高齢者等の安全を確保し家族等を支援したい

申請による事前  
登録



行方不明等事案  
の発生



協力事業所等へ支援要請



発見・保護

## 認知症介護者のつどいの方々から……

- ・家族が本人を連れてきて、安らげる場所がない
- ・介護してて、相談にいけない
- ・地域の人に、認知症を身近に感じてほしい

オレンジカフェをしたい。  
でも、予算は、人は、場所は……×

## 地域の方々から……

- ・認知症は他人事
- ・認知症になると介護が大変、怖い病気
- ・認知症の人と触れ合う場所がない

認知症の理解が必要。  
身近なこととして、みんなに考えてほしい。

# 認知症架け橋募金のとりくみ



「地域テーマ型募金」として、宮崎県共同募金会より、高鍋町共同募金委員会が選ばれる。

「めざせ！認知症に優しい町・高鍋」をテーマにし、啓発活動や、今後の取り組みに要する資金を確保することを目的として、募金を活動団体、寄付者、企業、一般市民に募り、活用していく。



- ・地域の方や医療機関、施設などから 約66万円の募金に協力いただく
- ・いただいた募金をこの1年は、啓発活動、地域づくりとして利用。

# 認知症架け橋募金のとりくみ



「めざせ！認知症に優しい町・高鍋」をテーマにし、  
プロジェクトを立ち上げ！！



委員：

認知症介護者のつどい  
民生委員

婦人部会などの地域の方  
地域包括支援センター  
社会福祉協議会

今年度より参加  
小規模多機能ホーム職員  
ケアマネージャー

# 認知症架け橋募金のとりくみ



「オレンジカフェ・はまぼう」オープン！！

認知症の人、家族、認知症に関心のある人が気軽に  
つどい、相談できる場。

運営：認知症の介護者のつどい 地域包括支援センターなど  
月1回第3水曜日 13時半～15時半 /ぐらんま茶寮





# 認知症架け橋川柳

めざせ！認知症に優しい町 **高鍋**



## 作品募集

高鍋町では、認知症にまつわる  
そっと微笑みが生まれるような  
川柳作品を募集します。  
普段、認知症にかかわる方も  
そうでない方も、  
川柳をとおして認知症に  
地域ぐるみで触れ合い、  
認知症と地域をつなげる架け橋を  
つくってみませんか。





20代から80代まで  
**424作品！！** 受賞  
した作品は、のぼり旗  
として啓発活動に活  
用！！

# 第5回「認知症シンポジウム」

～ みんなの地域にある、みんなの認知症のために ～

地域で、認知症の人や家族が安心して暮らせるように、認知症の人や家族の想いを理解し、対応を学ぶ。また、認知症を支える活動を共有できる場に。認知症を支えるパネル展を開催。介護者のつどい、認知症ケア専門士など 紹介のブースも用意。

共催：高鍋町 認知症介護者のつどい 家族の会 認知症ケア専門士

1部：認知症家族の会 副理事 杉山 孝博先生 講演

「認知症の理解と援助」

2部：公演 与那城 敬 氏

東小学校合唱団

3部：宮崎リハビリテーション学院

作業療法学科 道本 純子先生

「母が教えてくれたこと～本人の日記から」



## 今後の課題（認知症架け橋募金）・・・

- 予算の明確化 当初予算の見直し
- 継続的な支援や予算をどうしていくか
- ボランティア団体につながるしくみづくり
- 年代問わず、地域をどう巻き込んでいくか
- 広報の展開、見直し
- 地域の課題の抽出

## 今後の展開・・・

- 「行政」
- 「地域包括支援センター・認知症地域支援推進員」
- 「社会福祉協議会」
- 「認知症介護者のつどい」
- 「医療機関」

連携しながら・・・ 地域とともに

推進員として、様々な活動の架け橋になることが必要。  
テーマ型募金は、地域の声を形にできる活動。

行政の施策と連携し、必要な活動を継続できるように支援していく。

## 今後の活動・取組みの方向性

- 安心ガイドの普及、啓発
- 初期集中支援チームとの連携による個別対応の充実や医療との連携
- 地域づくり  
介護者のつどいの継続、オレンジカフェの増設、ボランティア団体の設立と育成
- 広報  
サポーター養成講座、認知症架け橋川柳、講演会、face book などのSNS発信
- 認知症予防  
介護予防と認知症予防の講演会、予防体操の普及推進
- 多職種連携  
専門職との連携、課題抽出型ワークショップの開催  
福祉職だけでなく、脱領域の意見を取り入れる



最後に・・・

地域が大切にしていること、人や家族、  
支援している介護や医療の仲間を知り  
顔が見える関係へ

そして・・・

様々な立場で、出来ることから一歩ずつ  
始める      ～つながる・架け橋～

目標は同じ、つながり協力しあい前へ



ご清聴ありがとうございました。

